

## 沖縄科学技術研究基盤整備機構（OIST）の退職役員の業績勘案率について

### I OISTの顕著な業務実績について

#### 1 前例のない困難な任務を短期間で完遂

(1) ①世界最高水準の教育研究機関を、②沖縄の地にゼロから設立する、という我が国でも前例のない困難な任務。

(→他の法人は、既存の組織があって、その運営改善を目指したもの)

(2) 全体の評価項目のうち約9割が、「A+」及び「A」の高評価。

・内閣府所管の4法人のうち、A+評価がついたものはOISTを含めて2法人のみ。

・A+評価がついたものはごくわずかであり（所管4法人の全評価項目数の1%に満たない）、A+評価は極めて顕著な業務実績を高く評価していることの表れ。

※さらに、OISTは、教育研究機関としての中核業務（人材・研究基盤の確保）についてA+評価を受けており、業務のウェイトから見て最も重視すべき項目がA+評価。

(3) 準備組織の母体が無いにも関わらず短期間で立上げ（設立準備組織発足から7年）

#### 2 主要業務において、特に顕著な業務実績（A+）

教育研究機関であるOISTの主要業務（人材・研究基盤の確保）のコアにおいて、特に優れた業務実績。

(1) 極めて質の高い国際ワークショップ等の開催によるグローバルネットワークの構築

・50回近く（毎年8回程度）の国際ワークショップを開催し、グローバルネットワークを構築。

・外国人の参加割合が5割以上（本物の国際レベルの会合との称賛有り）。

→平成17年度以降の参加者数2,460人（うち外国人1,404人）

・講義内容について、参加者の満足度が非常に高い。（非常に評価：約7割、肯定的に評価：約9割）

・入学生の4分の1、主任研究者の15%以上は国際ワークショップ参加者。

(2) 極めて優秀な研究者を世界から採用

・外国人の主任研究者が6割強も占める。（64.4%、45名中29名）

→中期目標の最低値（50%以上）を10ポイント余りも上回る実績。

・ノーベル賞受賞者による選考。

・権威ある賞の受賞歴、総合超一流学術誌等への論文掲載歴が豊富な世界最高水準の研究者が集結。

・平成23年度の主任研究者採用数（19名）に対して、500名以上の応募者。

→ゼロから出発したOISTに対する国際的な評価が急速に高まってきた表れ。

### 3 国内外における高い期待（～業務実績の好調さの表れ～）

- （1）日本国内だけでなく、英国の「ネイチャー」、「エコノミスト」等が大きく取上げ。世界から高い期待で注目。
- （2）学生の応募、入学においても、
  - ① 当初予定者数（20名）の約10倍の志願（189名）
  - ② 18の国・地域から34名の学生を選抜（88.2%が外国人）
  - ③ 入学者の6割が修士号保有者という意欲的な学生が集結。

## **Ⅱ 指摘の事案について**

・下記1～3については、事案の重要性に鑑み、減算要因として考慮する必要があるとしつつも、

- ①法人の特殊な性格に起因する側面があること
- ②悪意に基づき行われたものではないこと
- ③再発防止策に取り組んできたこと

等の点について考慮する必要があるとし、法人の顕著な業務実績が上がっていることも踏まえ、業績勘案率を1.0としたもの。

### 1 施設整備費に関する予算超過について（減算要因）

- ・法令違反に該当するような事実や意図的な不手際等は存在せず。
- ・再発防止措置や業務運営体制の抜本的な強化の取組。

### 2 国会審議における本法人の管理運営状況についての指摘（減算要因）

- ・組織として不適切な行為を行ったものではなく、再発防止措置の実施。

### 3 契約に関する情報公開に関する法令違反等（減算要因）

- ・工事の発注自体に問題があるわけではなく、情報開示等において不備があったという瑕疵にとどまる。

### 4 理事の旅費に関する報道（減算要因には非該当）

- ・業務と関連のない旅費の支出は認められなかった。
- ・事務処理上の問題であり、法令違反や法人への損害が生じているわけではない。
- ・適切な再発防止策が取られた。

### 5 会計検査院からの指摘（減算要因には非該当）

- ・事務処理上のミスに起因。
- ・適切な事務処理体制を構築。

## 【参考】 OIST の主任研究者の経歴・業績例

※詳細は、別添を参照

### ●権威ある賞の受賞

(ノーベル医学・生理学賞、文化勲章、紫綬褒章、ベンジャミン・フランクリン・メダル、エドウィン・グラント・コンクリン賞、ベルツ賞、朝日賞など)

### ●ネイチャー、サイエンスなど一流総合学術誌の論文掲載をはじめ、それぞれの専門分野で顕著な論文が掲載された実績がある。

### ●世界トップレベル大学等での研究経験

(ハーバード大学、カリフォルニア大学、カリフォルニア工科大学、ケンブリッジ大学、コロンビア大学、プリンストン大学、スイス連邦工科大学、東京大学、京都大学など)

### ●世界トップレベル大学等での博士号取得

(カリフォルニア大学、ジョンズ・ホプキンス大学、テキサス大学、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、スイス連邦工科大学、東京大学、京都大学など)

沖縄科学技術大学院大学の主任研究者の主な経歴・業績

	若手 (※1)	受賞歴	世界最高峰の学術誌(※2) への論文掲載実績	世界トップ大学(※3) での研究経歴	世界トップ大学(※3) での博士号取得
1			ネイチャー<3回>	瑞カロリンスカ研究所 英エディンバラ大学	
2	●		米国科学アカデミー紀要	米ハーバード大学 米ブラウン大 米ピッツバーグ大学	米ピッツバーグ大学
3		アルバート・ラスカー基礎医学研究賞、京都賞、キング・ ファイサル国際賞、ノーベル生理学・医学賞、国家科 学技術賞(シカゴホール)	ネイチャー<多数> サイエンス<多数> 米国科学アカデミー紀要<多数>	英ケンブリッジ大学	英オックスフォード大学
4	●		フィジカル・レビュー・レターズ<5回>		
5	●		ネイチャー<2回> 米国科学アカデミー紀要 フィジカル・レビュー・レターズ<3回>	米イリノイ大学	米イリノイ大学
6	●	米国物理学協会スティーブン・チュウ賞	フィジカル・レビュー・レターズ<2回>	米カリフォルニア大学ハーケー校 米カーネギーメロン大学	米カリフォルニア大学ハーケー校
7			セル<3回>	米カリフォルニア工科大学	
8		日本学術振興会賞 塚原仲晃記念賞(フレインサイエンス振興財団)	ネイチャー<2回> サイエンス	米カリフォルニア大学サンディエゴ校	東京大学
9	●		ネイチャー	米ミシガン大学	米テキサス大学
10			ネイチャー<2回> 米国科学アカデミー紀要<2回> フィジカル・レビュー・レターズ<9回>	米イリノイ大学、ブラウン大学、	米ブラウン大学
11			ネイチャー	英ロンドン大学 英エディンバラ大学	
12		西宮・湯川記念賞受賞	フィジカル・レビュー・レターズ<2回>	東京大学、京都大学	東京大学
13	●		ネイチャー<2回>		
14	●		ネイチャー	東京大学	
15		プリ・アルス・エレクトロニカ、ネイチャー・メンター賞	ネイチャー<3回> セル	東京大学 米カーネギーメロン大学	京都大学
16	●		フィジカル・レビュー・レターズ<4回>		米ブラウン大学
17	●		米国科学アカデミー紀要<2回>	米プリンストン大学	独ミュンヘン工科大学
18	●		ネイチャー<3回> セル	英ケンブリッジ大学 米エール大学	英ロンドン大学
19	●	ジョン・ブッチャー賞(数値解析)	ネイチャー	スイス・チューリッヒ工科大学	
20			ネイチャー 米国科学アカデミー紀要<4回>		東京大学
21			米国科学アカデミー紀要<2回> セル<4回>	東京大学	東京大学
22	●	ジョージ・アイコウト賞(国際社会性昆虫学会)	米国科学アカデミー紀要<2回>	米テキサス大学	米テキサス大学
23			ネイチャー フィジカル・レビュー・レターズ<5回>	米プリンストン大学	英ケンブリッジ大学、 米カリフォルニア工科大学
24	●	米国生態学会優秀論文賞	米国科学アカデミー紀要	米カリフォルニア大学サンタバーバラ校	米ワシントン大学
25	●		フィジカル・レビュー・レターズ	豪メルボルン大学	
26			セル	米コロンビア大学	米ジョンズ・ホプキンス大学
27	●		米国化学会誌		米カリフォルニア大学ハーケー校
28			ネイチャー<2回> 米国科学アカデミー紀要<3回>		
29		紫綬褒章、ド・ウイン・グラント・コンクリン・メダル(米国発 生生物学会)	ネイチャー<5回> サイエンス<2回> 米国科学アカデミー紀要<3回>	京都大学	東京大学
30	●	日本遺伝学会奨励賞	ネイチャー サイエンス 米国科学アカデミー紀要		京都大学
31	●		ネイチャー フィジカル・レビュー・レターズ<11回>	米ウイスコンシン大学マディソン校	
32		日本加速器学会奨励賞、理化学研究所重要技 術貢献賞・運営貢献賞	ネイチャー フィジカル・レビュー・レターズ		
33	●	ジョン・マクニール賞		スイス・チューリッヒ工科大学 豪メルボルン大学	スイス・チューリッヒ工科大学
34		レタス外ウツカ賞(瑞・王立科学アカデミー) アレニウスメダル(瑞・化学協会)	ネイチャー セル<3回> 米国科学アカデミー紀要<5回>	瑞・カロリンスカ研究所	
35	●		ネイチャー フィジカル・レビュー・レターズ		
36		ベルツ賞	ネイチャー<3回> サイエンス<4回>	東京大学、京都大学	
37		日本女性科学者の会奨励賞 有機合成化学協会関西支部賞	米国科学アカデミー紀要<2回> 米国化学会誌<11回>	京都大学	京都大学
38		朝日賞、日本学士院賞恩賜賞 ベンジャミン・フランクリン・メダル、文化功労者	ネイチャー<3回> サイエンス<3回> フィジカル・レビュー・レターズ<9回>		
39		ニューズ・ラント王立協会会員			
40			ネイチャー<2回> セル<5回>	米ハーバード大学 米カリフォルニア大学ハーケー校	米カリフォルニア大学ロサンゼルス校
41		バキンス・ワソソ賞	ネイチャー セル<2回>		
42	●		米国科学アカデミー紀要	米ハーバード大学	
43		朝日賞、高松宮妃癌研究基金学術助成受賞	ネイチャー<6回> サイエンス 米国科学アカデミー紀要<12回> セル<7回>	東京大学	
44		紫綬褒章、日本学士院賞・恩賜賞 文化功労賞、文化勲章	ネイチャー<9回> サイエンス セル<18回> 米国科学アカデミー紀要	京都大学	東京大学
45	●		ネイチャー	米デューク大学	

※1 45歳以下の研究者

※2 最高峰の総合誌(「ネイチャー」、「サイエンス」及び「米国科学アカデミー紀要」と、各分野で最高峰の雑誌(生物:「セル」、物理:「フィジカル・レビュー・レターズ」、化学:「米国化学会誌」)を挙げた。

※3 タイムズ社(英)、上海交通大学又はライデン大学による世界大学ランキングで50位以内の大学とした。